

高産次和牛繁殖雌牛への和牛受精卵移植の活用

今回は、当研究所にて実施しております新ETシステムの一例をご紹介します。新ETシステムとは、研究所職員が地元JAとともに各農家さんからの要望をまとめ、受卵牛の選抜から同期化処置、受精卵移植、妊娠鑑定に至るまでを集中的に行うものです。

品質の良い新鮮受精卵を用いるため受胎性に優れております。現在では十勝管内に留まらず、鶴川地域等、さらには東北、関東、四国および九州に至るまで全国で実施されております。

高産次和牛繁殖雌牛への和牛受精卵移植を 考えられたことはありませんか？

産子が良い枝肉成績を出してもその血統が古いものであれば高く評価されません。そこで下記のようなケースでは人工授精に比べ、受精卵移植は非常に有用な手段となります。

- ・貴重な精液から回収した受精卵を複数頭に移植したい
- ・繁殖性は優れているが母牛の血統が古い

当研究所では産次の高い老齢牛においても、 受胎した実績があります。

右の写真の牛は2011年12月10日に新ETシステムにより受胎し、今年15産目を迎える予定です。母体の血統は古いですが、ET産子の市場評価は高いと思われます。

他にも・・・

JA十勝池田町管内の13産黒毛和牛

JA十勝高島管内の11産褐毛和牛

のような高産次の和牛でも受胎した実績があります。

ET研究所ニュース

2012年 3月号



はなご号

血統：茂重波×第20平茂×田安福
H8.11.26生 JAむかわ 田浦牧場

今回は和牛繁殖雌牛への和牛受精卵移植にスポットを当てました。紹介いたしましたように様々な利点があります。夏場のヒートストレス対策にも受精卵移植は有効です。是非ご検討ください。

文責；全農ET研究所本場 中村

当研究所保有の黒毛和種受精卵を移植してみられませんか？

品質を厳しく選抜した優良血統の受精卵を移植し、高い受胎率が得られています。